

Abashiri Keivo Hlah School

★単元ごとの評価規準		★7月上旬～9月下旬までの学習内容	
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	
★何で評価するか	★何で評価するか	★何で評価するか	
・定期考査 ・小テスト ・課題学習	・定期考査 ・小テスト ・課題学習	・定期考査 ・小テスト ・課題学習	
7	3節 手続きの自動化	・マクロの記録機能を用いた、手続きの自動化について理解し、主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	

8	4章 データベースソフトウェアの活用 1節 ビジネスとデータベース	・データベースに関心を持ち、効果的な活用方法や役割などを説明できる思考が身に付いている。
9	2節 データベースの作成と操作	・データベースの演習に主体的な姿勢で取り組み、テーブル・クエリ・フォーム・レポート・リレーションシップの作成など、データベースソフトウェアの実践的活用のための知識と技術が身に付いている。

★単元ごとの評価規準		★10月上旬～3月下旬までの学習内容	
①知識・技能		②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。		企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
★何で評価するか ・定期考査 ・小テスト ・課題学習		★何で評価するか ・定期考査 ・小テスト ・課題学習	★何で評価するか ・定期考査 ・小テスト ・課題学習
10	3節 手続きの自動化 4節 データベースの構造 5節 SQLの操作	・ユーザーフォームにボタンを配置し、これまで作成したクエリやフォーム、レポートを呼び出すマクロに関する知識と技術が身につけている。 ・SQLの演習について自発的に取り組み、SQLの文法を理解し、データベースを適切に操作する技術が身に付いている。	
11	5章 業務処理用ソフトウェア 1節 グループウェアの活用 2節 販売管理ソフトウェアの活用	・グループウェアに関する知識、技術を身に付け、企業活動の改善に対する業務の効率的な処理について、組織の一員としての役割を果たすため、主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	
12	3節 給与計算ソフトウェアの活用	・給与計算ソフトウェアに関する知識、技術を身に付け、企業活動の改善に対する業務の効率的な処理について、組織の一員としての役割を果たすため、主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	
1	6章 情報システムの開発 1節 システム開発の基礎	・表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアによる情報システムの開発において、どのモデルで開発を進めるかを、主体的に考え、思考することができるか。	
2	2節 アルゴリズムの基礎	・アルゴリズムの各種基礎的な考え方を理解しているか。	
3	総合演習	・企業活動が抱える課題を現状分析し、表計算ソフトウェア、あるいはデータベースソフトウェアのプログラミング機能を利用して、主体的かつ協働的に取り組み、その技術を身に付けているか。	

自己評価			実際評価		
観点			観点		
①	②	③	①	②	③

★最終評価総括(自己評価／実際評価)

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度

自己評価総括
実際評価総括

①	②	③	①	②	③

◎前期振り返り		◎後期振り返り	備考